

揃える

神守中学校

令和3年度 第1学年 学年通信

No. 11

令和4年2月28日発行

学年末テストをふりかえって

学年末テストが終わりました。テストでは、科目が7教科でテスト範囲も広がりましたが、日頃の努力の成果は発揮できたでしょうか？これで1年間の定期テストがすべて終わったこととなります。前期のテスト結果から振り返ってみて、少しずつでも成長してきているでしょうか？反対に点数が下がってきているということはないでしょうか？

先週、学年末テストの成績個票を配付しました。成績個票を見て多くの人が気にする所は、順位だと思います。もちろん一つのバロメーターとして順位が上がり下がりするのを確認することは、大切なことだと思います。しかし、順位ばかりに気を取られてはいないでしょうか？「私はあまり勉強しなかったけど、順位は前より上がった。だから、このままの学習習慣で大丈夫だ。」という考えになることは、とても危険です。順位というものは、他人に左右されるのです。ですから、順位だけでなく、自分の中で努力してきたのか、足りなかったのかを基にして、順位を見るようにしていきましょう。

次の2年生でのテストに向けた対策を始めるのは、1年生でのテストが終わった今が一番だと思います。2年生で良いスタートを切ることができるように、授業への取り組み方や、学習方法を見直してみましょう。



いろいろな福祉の世界

2月10日(木)、福祉教室を行いました。今年度は、少し視点を変えて、「障がいを抱える人の話」ではなく、「障がいのある方と深く関わる人の話」から学ぶこととしました。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という方々からその職業の内容や障がいをもつ方との関わりについて聞く中で、世の中には様々な職があることを知ったり、障がいをもつ人だけでなく、様々な人と自分自身がどのように関わっていくかを考えたりすることができました。以下に生徒の感想を一部紹介します。

もし、自分の体の一部が不自由になっても、リハビリに通えば、療法士さんが、最後まで「頑張って治そう」という意志をもって一緒にリハビリに取り組んでくれることが分かりました。

同じような療法士でも1つ1つ違う役割があることを知りました。利用者からいろいろな話を引き出せるように、話し上手に聞き上手になることが大切だということが分かりました。

障がいがある人たちのために私にできることをしてあげたいと思いました。自分の楽しさを他の人たちにも分けて、人のために全力を尽くすことができる人になりたいと思いました。

障がいも人それぞれで、理学療法士になるためには、多くの知識が必要であり、何歳になっても学ぶ姿勢をもつことが大切だということを知りました。

療法士さんの話を聞いている中で、リハビリを行っている人の事を一人一人きちんと理解していることが伝わってきました。自分も障がいだけに限らず、性別や性格の違いを理解することがたいせつなんだと気づきました。

保護者の皆様へ

3月3日(木)は卒業式のため、1年生は家庭学習日となります。よろしくお願いいたします。